学校番号	４１６

令和３年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学んだ基礎・基本を生かして、絵画・版画・デザイン等の作品制作に取り組みます。
・作品制作を通して自らの持っている知識やイメージ、表現したものへの関心、感じなどを大事にしながら授業をすすめます。
・仲間と相互に観賞し、お互いに教えあう活動を通じて、主体的・会話的で深い学びを実践します。
・自分のよさを発見し、美しさを感じ取る完成を高め、表現する楽しさや作品の完成の喜びを味わいます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 オリエンテーション 学習内容について 表現とは何か	○			○	a:学習内容に関心を持ち学習の意欲を高めている。 d:再現と表現の違いを理解し、よさを味わっている。	学習活動の様子 ワークシート
	構成デッサン	【絵画】 構成デッサン 身近なものと手を1つの画面に描く	○		○		a:デッサンの基本を理解し、主体的に取り組もうとしている。 c:構図を考え、デッサンに必要な技能を身に付け、表現できている。	制作の様子 作品
	オリジナルキャラクター	【デザイン】 キャラクターデザイン 自分のオリジナル キャラクターをデザインする	○	○	○	○	a:デザインの意義を理解し、主体的に取り組もうとしている。 b:自由な発想で表現の構想を練っている。 c:自分なりの表現をしている。 d:表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品
2学期	時計をつくろう	【彫刻】 時計をつくる	○	○	○	○	a:関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:自由な発想で文字盤の構想を練っている。 c:糸鋸や彫刻刀の使い方を習得し、彫り方や着色の仕方等の表現方法を工夫している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取りお互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 下書き 作品
	日本の美術	【鑑賞】 日本の美術	○			○	a:日本の伝統的な表現に関心を持ち、美術文化を理解しようとしている。 d:日本美術のよさや美しさを味わっている。	ワークシート 鑑賞活動の様子 発言
3学期	レザークラフト	【工芸】 キーホルダー コードホルダー キーカバーの3点セット ペンケースをつくる	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:革工芸に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:制作工程や特性を理解し、構想を練っている。 c:３点セットで革工芸の基本的な技法を習得し、ペンケースで表現方法を工夫している。 d:よさや表現の工夫などを感じ取りお互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。